

| | |
|----------|---|
| 学校名 | () |
| 氏名 | |
| 個人テーマ | |
| テーマ設定の理由 | <p>★ ともに、「テーマ研修計画書」どおりに記入する。(修正、変更することは可。その場合は、修正、変更の主旨を簡潔に記す。)</p> |

★1 「学校名」は小・中・義務教育学校は「〇〇市立」等から記入する。府立学校は「府立」から記入する。
 ★2 右端の()には、校種ごとに、以下を記入する。
 ・小・義務教育学校: 担当学年を「〇年」と記入する。
 ・中・義務教育学校、高等学校: 担当教科を「〇〇科」と記入する。
 ・特別支援学校: 学部を「〇〇部」と記入する。

研修計画に従った具体的な実践内容・成果・課題等

【 記 入 例 】

[1 研修内容]

(1) 担当する学年の生徒に、興味関心に関わる30項目のアンケートを実施する。(4月〇日)

○成果… 集計後生徒にも結果を返し、評価を共有した上で授業のイメージを示したことでこちらの意図を伝えることが…
 ○課題… 質問の意図や質問事項の精選を図るように……

(2) アンケート結果を分析し教科部会に提出し、様々な意見をいただく。(5月〇日)

○内容… ……
 ○成果… 授業改善を目指す教科の方向性が……
 ○課題… 実施前に示すことで……

(3) 発問のねらいやタイミングを中心に教科主任に依頼して授業を参観する。(5月〇日)

○成果… 教師の発問に対する生徒の反応を客観的に参観できた。また、授業後、教科主任に質問し、自分の予想した発問との違いから、この授業での発問の工夫を…
 ○課題… ねらいと生徒の特質にあわせてどのような工夫ができるか、自分の授業の中では……

(4) 校内授業研究会において授業を公開する。(6月〇日)

○内容… 知識・技能を問う単発的な発問と、本時の授業のねらいに迫る発問の工夫を試みた。

[2 成果と課題]

[3 まとめ]

★ 実践内容に沿って、具体的に記入

- ・ 課題の解決や目標の実現に向けての取組
- ・ 具体的な実践例など

* 左の例のように、時系列に表記してもよい。
 * あるいは、課題別に記すなどしてもよい。

《 テーマ設定と自己研修の方法 》

- ◇「目指す児童生徒の姿」の明確化
- ◇年度の初めに、指導方針の検討
 ⇒「テーマ研修計画書」、「中間発表資料」、「テーマ研修実施報告」に記載する。
- ◇研究、研修を生かす単元・授業を明確にした取組
 ⇒例えば、学期に数回や、月に数回、研究・研修の節を設けて取り組む。
- ◇テーマに対して具体的な工夫改善の内容を明確に示し、事後の成果と課題を整理
- ◇学習指導案ハンドブック等の参照

※年度途中の変更(計画の再整理)は可能(その場合は、修正、変更の主旨を簡潔に記す。)

7月までの成果

課題解決に向けて

★ 今後の教育実践に生かしたいこと
 12月までに目指したいこと、やりきりたいこと

1 総合教育センターのホームページ ITEC からダウンロードできます。
 2 この用紙は、各自が作成し2年目教員「ステップアップ1」講座で提出してください。個人情報の記載については十分配慮し、必ず校長の許可を得てください。